



# 小田原・平塚正教会だより

2017年2月号

2017年2月1日発行 第174号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX : 0465-22-2792 携帯 070-5079-3408

E-mail: [holyspiritodawara@gmail.com](mailto:holyspiritodawara@gmail.com)

日本ハリストス正教会教団 HP: <http://www.orthodoxjapan.jp/>

当教会 HP: <http://odawara-orthodox.com/>

郵便振替口座: 00270-6-15226



なんじ じゅうじか なんじ  
「爾の十字架にて、爾

すまい まも たま  
の住所を護り給え。」

成聖とは、万物を聖化し、  
祝福し、癒す至聖神の恩  
寵を、人に見えるかたちで  
与えるために、私たちの教  
会が定めた機密である。

(続きは2ページへ)



静岡ハリストス正教会 新生神女庇護聖堂

## ●税吏とファリセイの主日聖体礼儀

2月5日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

第8調 使徒経: ティモ後 3:10-15 福音経: ルカ 8:10-14

## ●乾酪(赦罪)の主日聖体礼儀・月例パニヒダ

2月26日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

第3調 使徒経: ロマ 13:11-14:4 福音経: マト 6:14-21

## ●赦罪の晩課 2月26日(日) 16:00～

## ●大斎初週祈禱 2月27日(月) から3月3日(金)まで

10:00～ (早課・時課・晩課・先備聖体礼儀)

静岡ハリストス正教会 生神女庇護聖堂 成聖式 2月19日(日) 9:00～

※このため2月19日、小田原の聖堂では祈禱がありません。

※ We don't have Sunday service on February 19 at Holy Trinity Odawara for the consecration of the new church building in Shizuoka parish.

# せい せい 成 聖

～主よ、爾の民を救い、爾の業に福を降せ～

『主よ、爾の民を救い、爾の業に福を降し、吾が国に敵に勝たしめ、爾の十字架にて爾の住所を守り給え』。この成聖のトロパリは、神がその民を救い、その嗣たる私たちを祝福し賜わんことを主に祈願する祈祷文です。救いは「我が国」、言い換えれば、「敬虔なる者たち」が不敬なる者たちに勝利し、主がその「住所」、つまり「教会」をその十字架の力によって護ることで私たちに顕れます。

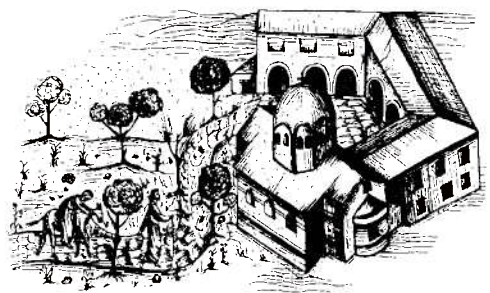
不敬な者たちに対する敬虔な者たちの戦いは、この地上で古の昔から続けられてきました。たしかに、今日あからさまに教会を滅ぼそうとする不敬の者たちはいません。しかし、私たちには見えない敵がいます。霊的な戦いは今も延々と続いているのです。それゆえ、この素晴らしいトロパリの「吾が国

に敵に勝たしめ」という文言には、特別の意味があります。これは、私たちの教会のすべての先人たち、信仰のために闘い、教会を建て、正教の信仰を護ってきた私たちの父祖兄弟姉妹を讃える歴史的記念碑なのです。

「敬虔な者たち」は、自分たちのためだけに祈りません。その町に、その地域に、その国に住むすべての人々のために祈るのです。そして、神の十字架の力はその地を成聖します。

だからすべての地に教会が必要なのです。聖神の恩寵は、見えざる敵に対する敬虔なる者たちの戦いによって、たとえ少しずつであっても、知らずのうちに多くの人々に与えられていくのです。

司祭 ディミトリイ 田中 仁一



## 最近の出来事・消息

**小田原** 2017年新年感謝祈禱 1月1日(日)午前11時から新年感謝祈禱が行われました。31名が参拝し、感謝祈禱の中では、参拝者ひとりひとりのお名前が挙げられ、新年を迎えられたことへの感謝と、祈願をしました。ご祈禱後には青空の下、甘酒を手に皆で新年のご挨拶をしました。又、12月31日午後11時から1月1日午前1時30分まで年越しでの聖体礼儀が行われました。

**旧暦降誕祭** 1月6日(金)午後11時より降誕祭聖体礼儀を行い7日午後1時半に終了しました。

**神現祭・新年会** 1月15日(日)午前10時から教会暦から4日繰り上げて神現祭(主の洗礼祭)を行いました。聖体礼儀に続いて大聖水式を行い、聖堂と参拝者に新たに祝された聖なる水が降り注がれました。また昼食に合わせて新年会が行われました。婦人会が用意してくださった料理を囲んで改めて新年を祝いました。

**ラファイラ 山本<sup>もちか</sup>百花 姉 洗礼機密** 1月17日(火)午後1時から行われました。受託者はマカリイ神谷幸夫副輔祭とウエラ神谷智子姉。美容師のラファイラ山本姉は土日に仕事の休みを取るのが難しい中、平日に教会に来て、コズマ山本兄と正教会について知る時間をできるだけ設けて受洗されました。2月5日にはコズマ山本侑輝(ゆうき)兄と婚配式を行います。

**柏久保** 新年感謝祈禱 1月7日(土)午前10時から、新年感謝祈禱が行われました。6名が参拝。柏久保教会は主の降誕会堂、まさに聖堂の記念日に信徒が集って祈りを捧げました。ご祈禱後には皆で昼食を頂きました。また昨年永眠されたダヴィド雨宮博前執事長の奥様、雨宮政子さんが4月8日にサラの聖名で受洗することが決まりました。

**静岡** 成聖式準備 2月19日成聖式を行う生神女庇護新聖堂の建物引き渡し日は予定通り2月10日です。聖歌に携わる信徒は練習日を増して聖歌の奉仕に備え、婦人会は成聖式祝賀会などの食事の準備と聖堂内使用する布類の準備に追われています。また成聖式当日にも多くの方にご協力をお願いしました。司祭は1月22日の聖体礼儀の終わりに、「仮聖堂と共に私はこの仮神父であった。これから来る新しい司祭と共に協力して、さらに良い教会を作っていくください、ありがとうございました。」との挨拶がありました。こうして約3年に亘り使用してきた仮聖堂(信徒会館)は、その日のご祈禱後に閉じられました。この仮聖堂によって静岡での祈禱が守られ続けたことに感謝いたします。なお、1月23日から新聖堂への聖器物等の移動の準備を始め、2月10日にガブリイル田中和幸神父様ご夫妻が東京から転居するために、司祭館の整備が開始されています。



聖堂で使用する布類を確認する婦人会

**修善寺** 新年聖体礼儀 1月8日(日)午前10時から、第29主日聖体礼儀が行われました。この日は大変寒い日で体調を崩している方も多くありました。それでも聖体礼儀には6名が参拝しました。昼食後は、今後の伊豆地域の教会生活の充実をはかるにはどうしたらよいか、などが話し合われました。

**平塚** 次回の集会 3月18日(土)午前10時から、復活祭前墓地祈禱を行います。降誕祭の祝賀会の中で、より効率的に墓地を巡るよう考えたルートで行って参ります。平塚市営墓地にて午前10時から始まります。

## 教会のインテリアについて（基礎編）

正教会は原則3つの部屋に分かれています。入口すぐの空間は啓蒙所ひいもうしょと呼ばれます。昔、この空間は洗礼準備をしている啓蒙者と、何らかの理由で領聖を止められている人々がいるために設けられていました。教会によっては洗礼所があります。現代の教会の啓蒙所は比較的小さく、ロウソクや聖パンの頒布スペースとなっています。



聖堂の中央の部分は聖所と呼ばれ、信者が立って祈る場所です。この空間はイコノスタス（聖障）で、その先の至聖所と区切られています。イコノスタスとは複数のアイコンで覆われた聖所と至聖所の



間仕切りです。最も古い教会のイコノスタスは高さがなく、アイコンも立てられていませんでした。しかしアイコンを偶像だとして打ち壊す聖像破壊運動に教会が勝利した8世紀ごろからイコノスタスは高さを増し、天井までの高さに至るまで層を重ねるものも出てきました。イコノスタスには3つの入り口があります。中央のドアは王門おうもんと呼ばれます。これは天の王である主ご自身が、見えずとも、そこを通過してご聖体のうちに入ることからそう呼ばれます。聖所から見て王門右手側のドアは南門、その左手側は北門で、輔祭である聖人や天使のアイコンが立てられていることが多いです。王門のドアには福音に関するアイコンが立てられます。端にはその聖堂の名が分かるアイコン、例えば、その聖堂の名前となっ

ている祭や聖人のアイコンが見られます。王門の真上には機密の晩餐（最後の晩餐）のアイコンがあります。それは信者が、教会で最も大切な機密である聖体機密が行われる場所であるということを心するためです。イコノスタスは通常、床から数段高くなったところにあります。

イコノスタスの先にある、至聖所は教会の中で最も聖なる場所です。中央には宝座があります。宝座とは特別に成聖された四角いテーブルのことで、パンとぶどう酒の聖変化が執り行われます。また宝座は聖にされた祭事布で覆われています。至聖所内にあるもう一つのテーブルほうけんたいは奉獻台といい、聖体礼儀に使用するパンとぶどう酒を準備するプロスコミディア（奉獻礼儀）が行われます。

## 献金報告

1/20 現在 日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏名	摘要
1/8	鶴沢 修一 副輔祭様	降誕祭献金
	廣石 太郎 兄	降誕祭献金
	平山 京子 姉	降誕祭献金
	阿部 素子 姉	会報献金
	アルコフ 兄・氏原 姉	降誕祭献金
	仮野 美枝 姉	降誕祭献金
	田中 孝衛 兄	降誕祭献金


### 婦人会献金

日付	氏名	摘要
12/25	神谷 多津恵 姉	
	廣石 マサ子 姉	
	土居 美知子 姉	

◆ 12月末に献金を振り込んでくださった方へ◆  
お名前が入力がない方がありました。領収書を発行

4 しますので、お手数ですが教会までお知らせ下さい。

## 【2017年2月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	堂役	主日調/聖書の読み
1	水	[私祈祷]		2/5 第八調 使徒経: ティモ後3:10-15 福音経: ルカ8:10-14
2	木	[東京]		
3	金	[静岡]		
4	土	税吏とファリセイの主日前晩祷(17:00)		●婦人会昼食当番
5	日	税吏とファリセイの主日聖体礼儀(10:00) [午後:私祈祷]	神谷(幸)	皆で協力して行いましょう
6	月			2/12 第一調 使徒経: コリフ前6:12-20 福音経: マト15:11-32
7	火			
8	水			●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
9	木	[東京]		
10	金	[静岡]		
11	土	[午前:柏久保] <span style="float: right;">建国記念日</span>		皆で協力して行いましょう
12	日	蕩子(放蕩息子)の主日代式祈祷(10:00)・聖堂清掃 [修善寺]	山口(幸)	
13	月			2/19 第二調 使徒経: コリフ前8:8-9:2 福音経: ルカ25:31-46  小田原での祈祷はなし
14	火	[静岡]		
15	水	[静岡] <span style="float: right;">迎接祭(十二大祭)</span>		
16	木	[静岡] <span style="float: right;">日本の垂使徒聖ニコライ祭</span>		
17	金	[静岡]		
18	土	[静岡]		
19	日	静岡 新聖堂成聖式のため小田原での祈祷はなし		
20	月			
21	火			2/26 第三調 使徒経: ロマ13:11-14:4 福音経: マト6:14-21
22	水			
23	木	[東京]		●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
24	金			
25	土	乾酪(赦罪)の主日前晩祷(17:00)		
26	日	乾酪(赦罪)の主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00)・赦罪の晩課(16:00)	山口(幸)	●糖飯当番: 廣石末子姉
27	月	大斎初週祈祷(10:00) <span style="float: right;">四旬大斎の始まり</span>		
28	火	大斎初週祈祷(10:00)		

[ ]内は司祭の活動

\* 聖体礼儀に参拝し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう \*

\* ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。 \*



## 2月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
1日	シモン	渡辺 正	1996年	渡辺 万千子
1日	オリガ	廣石 利子	2011年	廣石 卓也
2日	ミロン	廣石 清四郎	1976年	廣石 利恵
3日	エレナ	小杉 けさお	1934年	小杉 英男
5日	イアコフ	小島 憲	1944年	山口 晃
6日	マリヤ	廣石 君子	1991年	廣石家
9日	ハリテナ	窪田 スズ	1994年	窪田 幸夫
11日	イウニヤ	廣石 ワカ	1983年	廣石 利恵
12日	イオアン	神谷 政久	1988年	神谷 幸夫
15日	パウエル	中村 秀雄	1984年	中村 美枝子
17日	イオアン	廣石 辰男	2008年	廣石 末子
20日	ペトル	加藤角次郎	1958年	加藤 宏
21日	イリナ	加藤 屯子	1995年	加藤 宏
23日	マリヤ	中島 静江	1919年	中島 八千代
23日	パウエル	上野 貞	1963年	上野 攻
23日	ペトル	紺野 雅幸	1923年	紺野 雅章
23日	ルキヤ	廣石 ルキヤ	1938年	廣石 利恵
24日	アンドレイ	中島 浅吉	1957年	中島 八千代
26日	ソフィヤ	中島千代子	1962年	岡野 康子
27日	アキラ	日比野 彰	1994年	日比野 馨
27日	イリヤ	小杉源 左衛門	1921年	小杉 英男
28日	マリヤ	津田 千代枝	1991年	津田家

今月は第4週日曜日に永眠者の記憶を祈る「パニヒダ」を行います。聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの<sup>たましい</sup>霊が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。(月例パニヒダの日は必ず会報をご確認ください。)



### —大斎祈祷—

2月27日(月)から4月15日(土)まで、四十日大斎祈祷が行われます。平日の祈祷の機会も多くありますので、ぜひご参拝下さい。大斎初週には、ガブリエル田中和幸神父様も小田原の聖堂にて陪祷の予定です。大斎祈祷に参拝されたことがない方も遠慮なくお越しください。一部参加も結構です。



## 料理人の守護聖人 克肖聖エフフロシノス

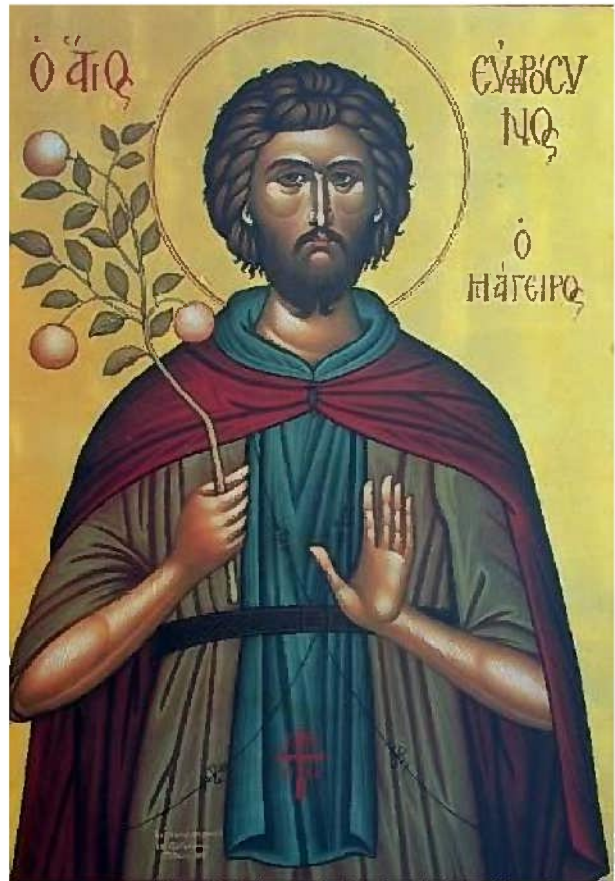
記憶日9月24日/9月11日(新暦)

聖エフフロシノス(エウフロシン)の生涯はアト山(アトス)の聖ニコディモスが著したシナクサリオン(聖人伝)の中に語られている。聖人がいつの時代に生きていたかは全く語られていない。非常に敬虔であったが、文字の読み書きができなかった。貧しい人々を憐れむ一方で、どんなにおいしい料理を作ったとしても、エフフロシノスはほとんど口にしなかった。

神への愛は必然的に聖人を修道の誓いへと導いた。修道士になってからも聖人は修道院で料理をし続けた。聖人が作る料理はいつも簡単なものばかりだったので、修道士たちがそのことで彼をからかうと、彼はいつもこう答えるのだった。『おいしい料理は必ずしも天国への善き助けにはならないよ。身体が求めるたくさんの喜びなんて、結局は霊の救いにはならないんだから。』

こんな言い伝えがある。共に修道生活を送っている一人の修道士が、夢の中で庭園に立つエフフロシノスに出会った。そこはその修道士の庭園で、彼が神を愛する人々のために造った庭園であった。その夢の中でエフフロシノスは修道士に三つのリンゴを手渡した。翌日、その修道士が上着の中を見ると、果たしてそこにリンゴがあった。そこで修道士はエフフロシノスを呼びつけ、問い質すとエフフロシノスは答えた。『神父様、確かに私はそこに居りました。あそこには神を愛する者が受け継ぐべき善きものがあるんです。それは神父様、あなたもずっと願い求めてきたものですよ。そんなわけで、正しい人々が願い求めるべき善きものについて、主は、神父様、あなたに教えたくて、私のような賤しい者を通じて奇跡を行ったんですよ。』

修道士がその体験を他の修道士たちに語ると、人の栄光を求めないエフフロシノスは、その修道院を去った。そのリンゴを食べた病人は皆、癒されたそうである。



一介の修道士の姿をし、3つのリンゴを手に入れている

# フォトレポート